

(1) 教育長報告

年月日	曜	時刻	行事名	場所
22/10/26	水	14:00	教育委員会定例会	都南分庁舎 教育委員会室
22/10/27	木	8:40	市教委学校訪問③	下小路中学校
22/10/28	金	18:30	盛岡市・都南村合併30周年記念祝賀会	ホテルメトロポリタンニューウイング
22/10/29	土	10:00	R4盛岡市教育振興運動地区別集会(第V地区)	盛岡劇場
22/10/30	日			
22/10/31	月			
22/11/01	火	9:25	令和4年度第72回東北六県英語教育研究大会開会式	アイーナ7階 小田島組ホール
		13:30	【協議会】岩手県国公立幼稚園・こども園協議会及び岩手県国公立幼稚園こども園PTA連絡協議会との懇談会	都南分庁舎 教育委員会室
22/11/02	水	10:30	第3回盛岡教育事務所管内教育長会議	洪民公民館 大会議室
		13:30	第2回盛岡教育事務所管内公立小・中学校校長会議	洪民文化会館 姫神ホール
22/11/03	木	10:00	市勢振興功労者表彰式	中央公民館 講堂
22/11/04	金	11:00	第102回原敬忌追悼会	黄檗宗 福聚山 大慈寺
		17:00	市長表敬訪問/下小路中学校女子駅伝部(全国大会出場)	本庁舎 402会議室
		18:00	岩手県小学校長会先輩と語る会	サンセール盛岡
22/11/05	土			
22/11/06	日			
22/11/07	月	10:00	令和4年度盛岡教育事務所管内市町教育委員会教育委員等研修会	サンセール盛岡
		13:00	令和4年度「いわて教育の日」のつどい(盛岡教育事務所管内市町教育委員会教育委員研修会)	県民会館中ホール
		17:30	盛岡教育事務所管内市町教育委員会教育委員情報交換会	サンセール盛岡
22/11/08	火	10:00	【協議会】岩手県学校給食会理事会②	岩手県学校給食会3階第一研修室
		14:30	大新小学校創立50周年記念式典	大新小学校体育館
22/11/09	水	13:30	令和4年度第2回社会教育委員会議	都南分庁舎 大会議室
22/11/10	木	10:00	【市議会】全員協議会	本庁舎 委員会室
		13:00	【市議会】臨時会	本庁舎 議場
22/11/11	金	10:00	度會県教委学校教育監外1名来訪	都南分庁舎 教育長室
22/11/12	土	10:00	【市長代理】向中野小学校創立10周年記念式典	向中野小学校体育館
		17:00	盛岡市PTA連合会年次表彰式	サンセール盛岡
22/11/13	日			
22/11/14	月	庁議 終了後	令和4年度第2回環境基本計画推進委員会	本庁舎 403会議室(自席にて参加)
		13:30	岩手県学校教育ICT推進協議会(令和4年度第2回)	サンセール盛岡
		15:15	県教育委員会と市町村教育委員会との意見交換②	サンセール盛岡
22/11/15	火	14:00	第4回市内校長・園長会議	都南分庁舎 大会議室
		15:30	県中体連事務局会長外1名来訪	都南分庁舎 教育長室
22/11/16	水	14:00	キャリア教育推進協議会	都南分庁舎 大会議室
22/11/17	木	13:30	【協議会】教育長部会会議	ホテル森の風鶯宿
22/11/18	金	9:15	【協議会】教育長部会会議研修視察	雫石町
		13:00	【協議会】令和4年度岩手県教職員表彰式	岩手県民会館 大ホール

年月日	曜	時刻	行事名	場所
22/11/19	土			
22/11/20	日			
22/11/21	月	13:30	令和4年度第1回盛岡市総合計画審議会	本庁舎 8階大ホール
22/11/22	火	10:00	総合教育会議	本庁舎 806会議室
		16:00	市中学校長会教育長講話	サンセール盛岡
22/11/23	水			
22/11/24	木	9:30	盛岡てがみ館来客対応	盛岡てがみ館
		13:00	【市議会】全員協議会	本庁舎 委員会室
22/11/25	金	9:00	【協議会】第21回岩手県中学校総合文化祭開会行事・舞台発表	岩手県民会館 大ホール
22/11/26	土			
22/11/27	日	13:30	【協議会】岩手県PTA連合会年次表彰式・祝賀会	ホテルメトロポリタン盛岡
22/11/28	月	14:00	もりおか歴史文化館名誉館長就任式	もりおか歴史文化館研修室
		17:00	もりおか歴史文化館名誉館長祝賀会	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング
22/11/29	火			
22/11/30	水	10:00	日本教育公務員弘済会来訪	都南分庁舎 教育長室
		14:00	教育委員会定例会	都南分庁舎 教育委員会室

(2) 令和4年度第2回盛岡市社会教育委員会議の概要について

- 1 日時 令和4年11月9日(水) 午後1時30分から3時05分まで
- 2 場所 都南分庁舎 4階大会議室
- 3 出席者 社会教育委員12名、教育長、教育部長、教育次長、生涯学習課長、
生涯学習課長補佐、歴史文化課長外1名、中央公民館長、市立図書館長、
区界高原少年自然の家所長、市民協働推進課長外1名、生涯学習課7名
- [オブザーバー出席] 公益財団法人盛岡市文化振興事業団事務局次長、もりおか歴史文化館活性化
グループ総括責任者、盛岡サイエンスグループ子ども科学館長、第一商事株
式会社見前南地区公民館長

4 内容

(1) 報告

- ア 令和5年「盛岡市二十歳のつどい」の開催について
- イ もりおか子どもの読書活動推進計画に係る令和3年度実績と今後の取組について
- ウ 民俗芸能団体の活動・継承に係るアンケート調査の結果について
- エ 市立図書館大規模改修に係る進捗状況について

(2) 議事

- ア 令和5年度 社会教育行政の方針と重点施策について
- イ 令和5年度 文化財行政の方針と主要施策について
- ウ 令和5年度 社会教育関係団体への補助金の交付予定について
- エ 社会教育・文化財行政への提言について

5 主な意見

No	質問意見等	回答
1	【子どもの読書活動推進計画】 重点事項に「地域ぐるみで読書への関心を高める」とあるが、地域ぐるみでの取組とはどのようなものか。 (中村利之委員)	地域には公立図書館をはじめ、地域文庫やボランティア団体、公民館、児童館など読書推進に係る様々な施設や団体があり、これらの関係団体と連携を図りながらの読書活動推進となる。読書ボランティア団体は、学校等で読み聞かせ会を行っている。 行政の支援としては、図書の購入や選書、読書ボランティアの育成や学校図書館ボランティアの支援などを行っており、今後も拡充拡大に努めていく。 (生涯学習課)
2	【子どもの読書活動推進計画】 基本的には幼児期に保護者が読み聞かせをすることで本好きになると思うので、幼児期の読書に重点的に取り組んではどうか。 (関村和絵委員)	読書への関心を高めるには生まれる前からの保護者への取組も必要であり、読み聞かせなどの家庭での取組も必要。1歳6か月児健診での読み聞かせ等を通じ、引き続き、読書啓発を進める。 (生涯学習課)

3	<p>【子どもの読書活動推進計画】 (小石委員への質問) 中学校では朝読書を実施しているか。 (大橋清司委員)</p>	<p>北松園中学校では実施しているが、朝の時間に一斉読書をするかどうかは学校に任せられている。</p> <p>盛岡市では教育振興運動で読書活動の推進を続けてきており、学校も意識をして、地域と連携して読書活動を推進している。学力にも結び付いていくことが必要と思っている。</p> <p>松園地区公民館では読書まつりを開催して、中学生が小学生に対して読み聞かせをしたり、ブックトークをしたりしている。</p> <p>(小石孝紀委員)</p>
4	<p>【子どもの読書活動推進計画】 第3次計画の成果指標14から17番の目標値が4,600人と、令和3年度の実績よりかなり多い。算定の仕方はどのようなものか。 (中村利之委員)</p>	<p>第2次計画の目標値を継続したものだが、新型コロナウイルスの影響前の平成28年度、29年度実績は4,600人前後の参加者がおり、新型コロナの収束を見据えて目標値を設定したもの。</p> <p>(生涯学習課)</p>
5	<p>【市立図書館大規模改修】 書架の地震対策はどうなっているか。 (中村利之委員)</p>	<p>書棚にプラスチック素材の滑り止めを設置して本が落ちないようにする。業者からは震度6まで大丈夫と説明されている。</p> <p>(市立図書館)</p>
6	<p>【市立図書館大規模改修】 改修後に開館する際の宣伝方法は考えているか。何らかの形で宣伝してほしい。 (大橋清司委員)</p>	<p>宣伝方法については、今後、検討する。</p> <p>(市立図書館)</p>
7	<p>【令和5年度社会教育行政の基本方針】 見前地区公民館と飯岡地区公民館の長寿命化修繕は、耐震化工事はするか。 また、エアコンの整備はするか。 (佐々木章一委員)</p>	<p>耐震化を施している施設なので、今回の工事では改めての耐震化工事はしない。</p> <p>エアコン整備については、全室ではないが利用者が多い部屋などに整備する予定。</p> <p>(生涯学習課)</p>
8	<p>【令和5年度文化財行政の基本方針】 永井大念仏剣舞のユネスコ無形文化遺産登録によって、支援はどうなるか。 先般の市議会議員発議によって条例制定されたことにより、担い手の支援はどうなるか。 (佐々木章一委員)</p>	<p>現在も国の重要文化財になっており、ユネスコ登録によって追加の支援が受けられることにはなっているが、詳しくは、登録の段階になったら改めて文化庁に確認する。</p> <p>盛岡市郷土芸能の継承発展及び担い手育成条例については、民俗芸能分野では発表の機会の維持など関係部署と連携して、後継者支援に引き続き取り組む。</p> <p>(歴史文化課)</p>

9	<p>【令和5年度文化財行政の基本方針】</p> <p>国指定天然記念物である大ケ生シダレカツラについて、アメリカシロヒトリが発生しているが、薬剤散布しようと思っても難しい状況である。国の支援はあるのか。</p> <p>(佐々木章一委員)</p>	<p>大ケ生シダレカツラについては、アメリカシロヒトリの被害が心配される場所であるので、関係部署と情報共有しながら検討する。国からの補助金はないが、貴重な財産なので、どのような手法で守っていけるかを調査していく。</p> <p>(歴史文化課)</p>
10	<p>【令和5年度文化財行政の基本方針】</p> <p>盛岡城の復元と盛岡城跡公園の整備の担当課はどこか。</p> <p>(中村利之委員)</p>	<p>復元については、企画調整課の盛岡城復元調査推進室が担当しているが、3つの部署が連携している。3階櫓の構造がわかる資料が見つからないので、文化庁とも慎重にやり取りしている。あらゆる情報を収集中である。</p> <p>盛岡城跡公園の整備については、都市整備部公園みどり課が担当であるが、文化庁との連絡調整は歴史文化が担当している。</p> <p>(歴史文化課)</p>
11	<p>【令和5年度文化財行政の基本方針】</p> <p>大館町遺跡や安倍館遺跡の環境整備とはどの程度を考えているか。</p> <p>(大橋清司委員)</p>	<p>安倍館遺跡は、現在、必要な調査を行っているが、史跡指定にはなっておらず、これまでも発掘調査をしてきているが、整理をしながら市としての考え方を整理して、検討する。</p> <p>大館町遺跡については県の指定である。</p> <p>(歴史文化課)</p>
12	<p>【令和5年度文化財行政の基本方針】</p> <p>先人記念館の先人顕彰について、平成15年に追加顕彰してからほぼ20年経つが、今後、顕彰に該当する方がいたら顕彰をしてほしい。</p> <p>(工藤長彦委員)</p>	<p>現在、130人の顕彰をしている。何年かに一度、顕彰を検討しており、顕彰の在り方も含めて、今後も検討を続けていく。</p> <p>(歴史文化課)</p>
13	<p>【社会教育関係団体への補助金の交付予定】</p> <p>市の来年度予算要求方針で補助金減額の調整基準などは出ているか。</p> <p>(中村利之委員)</p>	<p>補助金については、減額の調整基準は出していない。</p> <p>(生涯学習課)</p>
14	<p>【その他 公民館備品】</p> <p>公民館の備品が老朽化して使用できないものがあるので、点検や修繕をしてほしい。上田公民館の冷暖房設備なども使用できない時期があった。</p> <p>(鎌田まき子委員)</p>	<p>利用者の方々が不自由なく使えるよう、備品の点検等は必要と考える。利用頻度の高いものは劣化もあるので、不便を生じないように努めていく。上田公民館の状況については報告を受けている。基幹設備で大規模な修繕を要するが、少しでも早く修繕に努めていく。</p> <p>(生涯学習課)</p>

(3) 令和5年「盛岡市二十歳のつどい」の開催について

1 趣旨

人生の節目である二十歳の式典を催すことにより、新しい門出を祝福するとともに、社会の一員になることを改めて認識させ、明日の盛岡市を支える市民としての自覚を喚起し、社会への参加意識を高める。

2 主催

盛岡市、盛岡市教育委員会、盛岡市二十歳のつどい実行委員会

3 日時

令和5年1月8日（日）午後2時開会（午後1時開場）

4 会場

盛岡タカヤアリーナ（盛岡市本宮五丁目4番1号 電話：658-1212）

5 参加対象者

市内在住又は過去に在住するなどの理由で、盛岡市二十歳のつどいに参加を希望するものであって、平成14年4月2日から平成15年4月1日までに生まれた者

【令和5年盛岡市二十歳のつどい対象者数】（令和4年6月1日時点）

区分	対象者数（前年度比）	（参考）前年度対象者数
男	1,399人（+15人）	1,384人
女	1,384人（-28人）	1,412人
計	2,783人（-13人）	2,796人

6 当日出席者数（見込み）

約 2,150人（令和4年参加者数 1,960人）

7 次第

(1) 記念式典（午後2時から2時30分まで）

- ・ 開式のことば 盛岡市二十歳のつどい実行委員長
- ・ 国歌斉唱 音楽（CD）
- ・ 盛岡市民歌斉唱 音楽（CD）
- ・ 二十歳を祝うことば 盛岡市長
- ・ 励ましのことば 盛岡市議会議長
- ・ 二十歳の決意 二十歳代表
- ・ 閉式のことば 盛岡市教育委員会教育長

(2) アトラクション（午後2時30分から2時50分まで）

【実行委員会による企画・運営（VTR上映等） テーマ「紡ぐ～spin2.0～」】

次世代に盛岡の文化・風景・街並みを継承（紡ぐ）していく、「spin」には「紡ぐ」の意味が含まれており、「回転する」を「変身する」に見立て、このテーマとした。また、「2.0」にはバージョンアップ「version2.0」などの意味を込めている。

8 協力団体

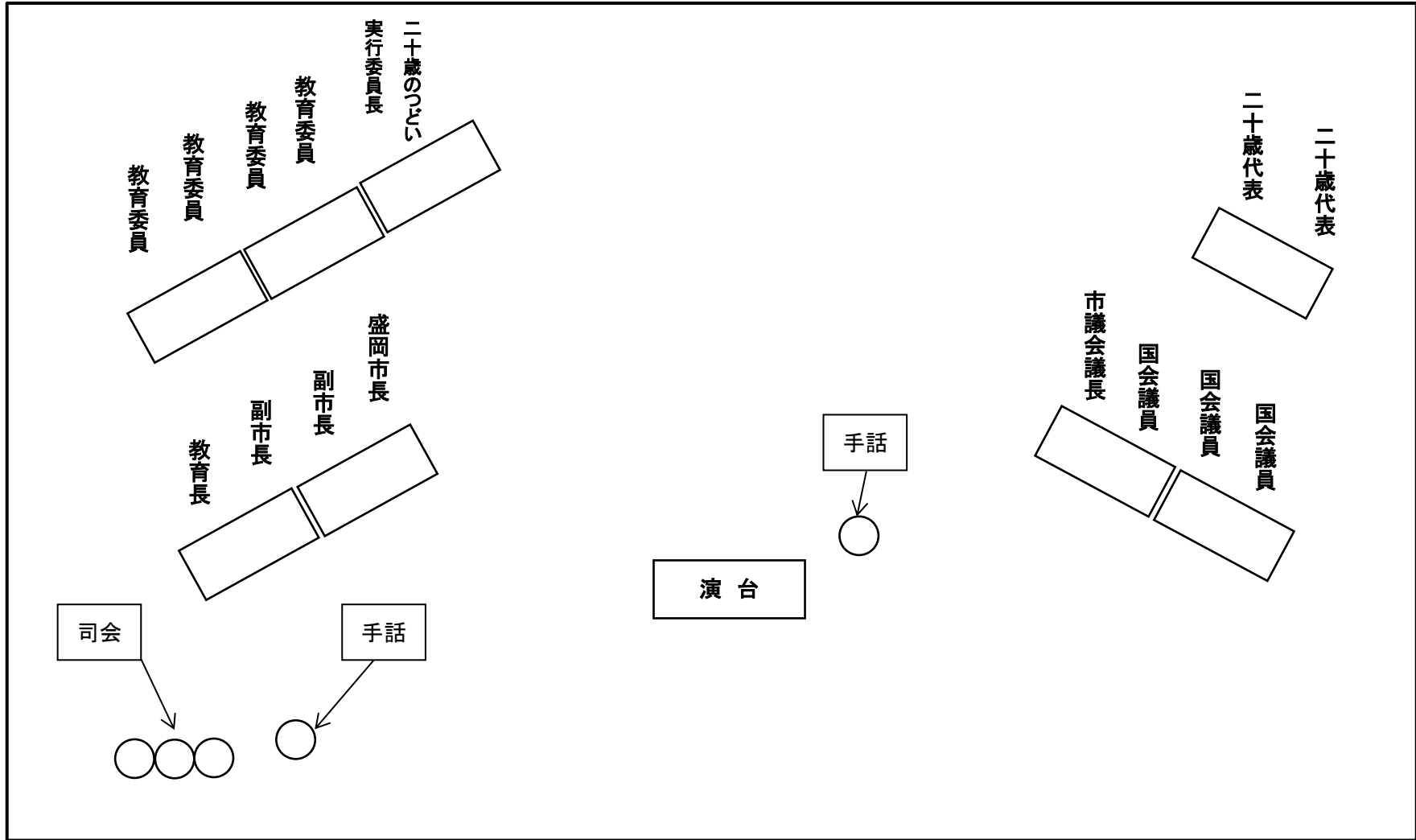
岩手県立視聴覚障がい者情報センター、岩手手話通訳問題研究会県北班、盛岡市交通指導隊、盛岡市少年指導員連絡協議会、盛岡市青年団体連絡協議会、盛岡市PTA連合会、一般財団法人民族衣裳文化普及協会

9 その他

- (1) 運営は、一般公募等による実行委員会（二十歳）9人、市及び教育委員会の協力体制により進めるものとする。
- (2) 次の新型コロナウイルス感染防止対策を講じることとする。感染拡大状況により、開催内容等を変更する可能性がある。
 - ・アトラクションの時間短縮（例年30分→20分）
 - ・式典、アトラクションのオンデマンド配信
 - ・手指消毒、検温、マスク着用
- (3) 昨年度との変更点は次のとおりである。
 - ・家族席の設置（0席→約600席）
 - ・来賓案内対象の拡大（1名→76名）

■壇上座席図

参考資料



議案第 20 号

臨時専決処理につき承認を求めることについて

教育長に対する事務の委任等に関する規則（昭和49年教育委員会規則第2号）第4条第1項の規定により次のとおり臨時専決処理したから、同条第2項の規定により報告し、承認を求める。

令和4年11月30日提出

盛岡市教育委員会教育長 多田英史

臨時専決処理書

教育予算その他議会の議決を経るべき議案について市長に意見を申し出ることについて、教育委員会の会議を招集する暇がないと認めたので、教育長に対する事務の委任等に関する規則（昭和49年教育委員会規則第2号）第4条第1項の規定により、次のとおり臨時専決処理する。

令和4年11月7日

盛岡市教育委員会教育長 多田英史

市議会の議決を経るべき議案に係る市長への意見の申出について

令和4年11月盛岡市議会臨時会に市長が提案する次の議案について、同意するものとする。

令和4年度盛岡市一般会計補正予算（第6号）（教育費分）

臨時専決処理の理由

令和4年11月盛岡市議会臨時会に教育委員会に関する議案を市長が提案するに当たり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第29条の規定により、教育委員会としての意見を市長に申し出ようとするものである。

1 令和4年度盛岡市一般会計補正予算(第6号)(教育費分)

《歳入》

【千円】

現計予算額	補正額	合計
4,546,109	13,377	4,559,486

内 容

①新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	学務教職員課	13,165
②新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	生涯学習課	2,850
③新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	中央公民館	4,006
④デジタル田園都市国家構想推進交付金	生涯学習課	2,850
⑤デジタル田園都市国家構想推進交付金	中央公民館	4,006
⑥公民館通信環境整備事業債	生涯学習課	△5,700
⑦公民館通信環境整備事業債	中央公民館	△7,800

議案第 21 号

令和 4 年度盛岡市教育委員会点検評価報告書について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第 162号）第26条の規定により、令和 3 年度に盛岡市教育委員会が実施した事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、別紙のとおり報告書を作成するものとする。

令和 4 年11月30日提出

盛岡市教育委員会教育長 多 田 英 史

提案理由

教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成しようとするものである。

令和4年度 行政評価結果

【第1巻 事後評価】

評価からはじめるまちづくり

令和4年12月

盛岡市

【施策評価(令和3年度実績評価)】

施策の総合計画における位置付け

基本目標	2	盛岡の魅力があふれるまちづくり
施策	11	歴史・文化の継承
施策主管部等	教育委員会	
評価責任者	渡邊 猛 教育部長	
評価シート作成者	工藤 浩統 教育次長	

「施策の目的」と「施策評価全体を踏まえた評価責任者意見」

施策の目的(総合計画実施計画から転記)	施策評価全体を踏まえた評価責任者意見
地域に受け継がれている歴史や文化に誇りを持ち、次世代に伝えていくため、文化財の保護に取り組むとともに、市民が歴史や文化に理解を深め、身近に感じることができるように、文化財の幅広い活用を図る。	地域に受け継がれている歴史や文化に親しむこと、そして、それを次世代に継承することは、地域づくりにとって、大切なことであり、更に市民の関心が高まるよう、企画展やイベント等について、創意工夫、改善し、意識啓発を図る必要がある。 また、博物館等施設については、市民が関心を持ち、訪れてみたいと思う魅力的な施設であり続けるよう、計画的に修繕・改修、整備を行う必要がある。 今後も、市民が地域の歴史や文化に興味を持ち、文化財の大切さを認識するとともに、施設の来館者の増加にもつながるよう、ソフト・ハード両面から、施策展開に努めたい。

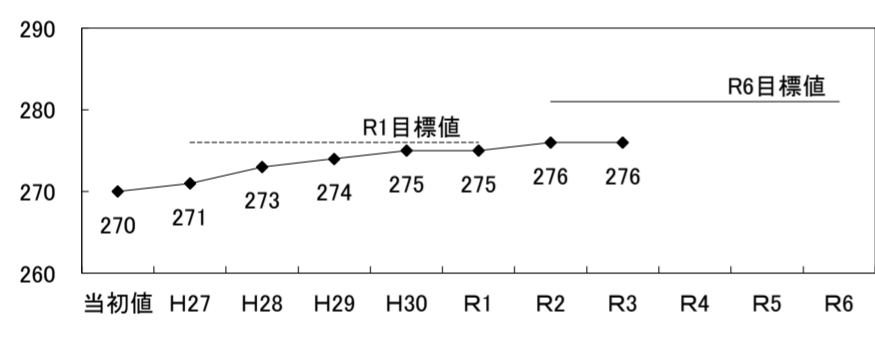
施策の概要

主な取組内容
文化財の保護については、指定となっている有形・無形の文化財の存続を図るとともに、無形民俗文化財保持団体への支援を行った。また、埋蔵文化財については、適切な調査・記録と保存・展示を行った。 博物館施設の整備・充実については、石川啄木記念館・玉山歴史民俗資料館の整備において、建築・展示基本設計等を実施したほか、既存9施設の活用が図られるよう、手洗い、消毒、検温等の新型コロナウイルスの感染症対策の徹底とPR活動に取り組んだ。

対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(対象をどのようにしたいのか)
市民	地域に受け継がれている歴史や文化への関心が高まる
文化財	地域に受け継がれている歴史や文化が保護、継承される

施策の成果指標の状況・評価

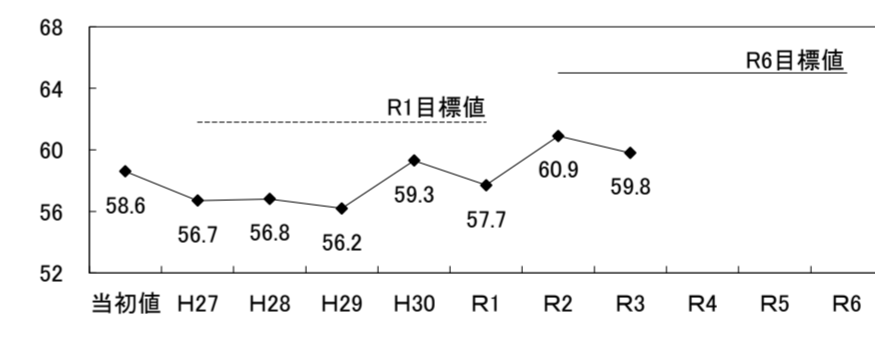
実績値の推移				進捗の評価	
指標①	文化財数(国・県・市指定)	単 位	目指す方向	○ 目標値に向け推移	
		件	↗		
当初値(H25)	270	R1目標値	276		



※H28実績値に誤りがあったため修正している

既存の文化財等は、保護のための環境、保存整備や調査、保存維持への助成や、保存継承団体への育成支援、活用などに取り組み、存続することができた。

実績値の推移				進捗の評価	
指標②	まちづくり評価アンケート調査「盛岡の歴史・文化財に興味関心がある」と答えた市民の割合	単 位	目指す方向	○ 目標値に向け推移	
		%	↗		
当初値(H25)	58.6	R1目標値	61.8		



盛岡城跡保存整備事業や埋蔵文化財調査事業、博物館等での歴史・文化財を活用した事業や現地説明会等の周知を市民に図り、市民に学習機会を提供していることで、まちづくりアンケート調査「盛岡の歴史・文化財に興味関心がある」と答えた市民の割合は、令和6年度目標値に向けて上昇傾向にある。

小施策評価を踏まえた「成果点・問題点」と「今後の方向性」

小 施 策	成果点・問題点	今後の方向性
11-1 文化財の保護と活用	<ul style="list-style-type: none"> 指定となっている有形・無形の文化財等を存続できた。 有形の文化財等は、周辺の環境も含め、適切な保存・修繕が難しくなっている。 無形民俗文化財は、深刻な後継者不足に直面している団体もあり、民俗芸能保持団体の特性に応じた対策が必要となっている。 埋蔵文化財の出土資料は、増え続けており、従来の施設には収まりきれず、仮設の施設にも仮置きしている状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> 有形文化財等の保存・修繕のため、町内会等地元住民への協力要請を行うとともに、必要に応じて、支援や助言を行う。 盛岡市歴史的風致維持向上計画等に基づき、補助制度を活用しながら、文化財の保護と活用に取り組む。 民俗芸能保持団体の後継者不足については、盛岡市無形民俗文化財保存連絡協議会と連携しながら支援策を講じる。 また、民俗芸能を紹介するPR動画を活用し、躍りの魅力を全世界に向け発信するほか、発表の機会を確保し、民俗芸能の周知を図る。 埋蔵文化財発掘の出土資料を、活用頻度等により再配置を行うとともに、保管に適した空き教室を利用するなど、収蔵場所の確保を図る。 未指定の文化財も含め、文化財をまちづくりに生かすつ、地域社会との協働でその承継にどのように取り組むかを明らかにする「文化財保存活用地域計画」の策定に向けた協議・検討・調査を進める。
11-2 博物館等施設の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響から、9施設の殆どの施設で入館者数がコロナ禍以前の半数以下となるなか、各館で手洗い、消毒、検温等、感染症対策の徹底を図りながら、館のPR活動に取り組んだ。 石川啄木記念館・玉山歴史民俗資料館の整備については、建築・展示基本設計、旧石川啄木記念館解体設計、用地測量を実施した。また、整備に係る市民意見を聴取するため、整備検討懇話会やワーキンググループ等を実施した。 各博物館施設においては、老朽化が進行しており、バリアフリー化など利用者の安全性・利便性の向上を図る必要が生じている。 	<ul style="list-style-type: none"> 博物館施設の活用が図られるよう、魅力あるイベント等を開催するほか、効果的なPR活動を行う。 博物館施設については、いずれも老朽化が進行していることから、改修等の必要性や緊急性を考慮し、利用者の安全確保及び利便性の向上が図られるよう、計画的に対応する。 博物館等施設の修繕や改修、展示施設の更新等に係る財源として、国の財政的な支援制度のほか、ふるさと納税やクラウドファンディングの制度等の活用について検討を行う。 「文化財保存活用地域計画」や「地域における文化観光の推進に関する法律」における地域計画等の策定に向け、博物館等施設での保存・活用のあり方を検討する。 石川啄木記念館・玉山歴史民俗資料館の整備については、施設の文化的な景観の確保、来館者の利便性の向上、道の駅整備との連携等を図りながら、取り組む。

【施策評価(令和3年度実績評価)】

施策の総合計画における位置付け

基本目標	3	人を育み未来につなぐまちづくり
施策	17	子どもの教育の充実
施策主管部等	教育委員会	
評価責任者	渡邊 猛 教育部長	
評価シート作成者	工藤 浩統 教育次長	

「施策の目的」と「施策評価全体を踏まえた評価責任者意見」

施策の目的(総合計画実施計画から転記)	施策評価全体を踏まえた評価責任者意見
子ども一人ひとりの個性をいかし、学力を定着させ、生きる力を育むことができるように、学校や家庭、地域などが連携しながら、子どもの教育の充実と健全な育成を図る。	盛岡市学校教育の目標を、「子どもたち一人一人に、自立して社会で生きていくための基礎を育む」とし、全市的な取組を総合的に進めており、一定の効果が出ているものと認識している。 成果指標としている小中学校の学力については、学力向上推進事業による授業改善等の取組により、全ての指標で全国水準を上回る傾向が維持されているが、体力運動能力については、令和3年度調査において、全国水準を下回っている項目があり、両指標とも令和6年度の目標値に達していないことから、取組を進めていく必要がある。 学力、体力運動能力とも、なお課題があることから、要因を分析し、取組方法を研究しながら、引き続き全市的な取組を展開していく必要がある。

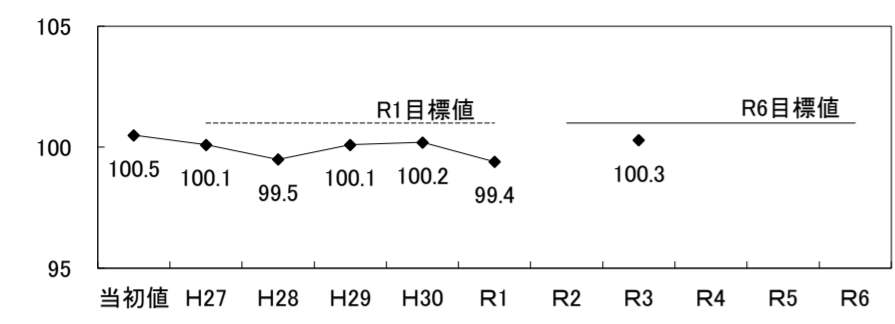
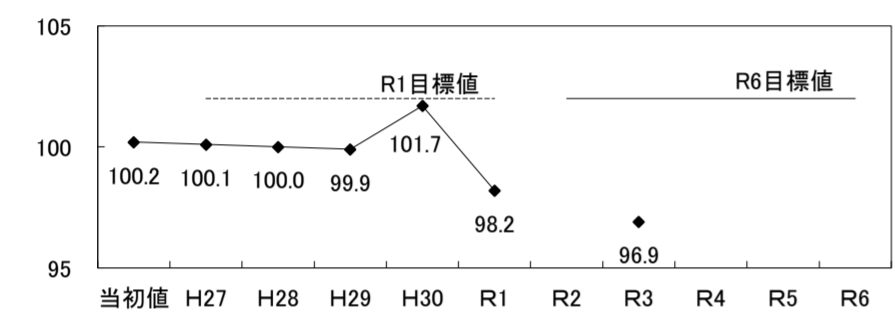
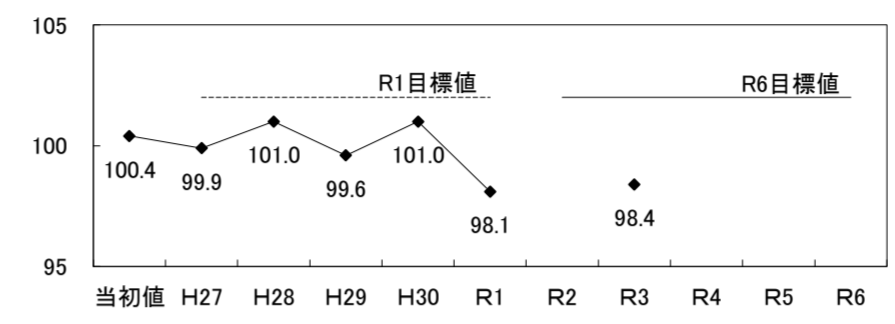
施策の概要

主な取組内容
教員の指導力向上のための取組を行い、児童生徒の学力向上を図るとともに、道徳教育・先人教育の充実などにより、豊かな心の育成を進めた。また、スクールアシスタント68名や不登校対策相談員15名を配置し、個別に配慮が必要な児童生徒への支援に取り組んだ。学校等の施設については、校舎の大規模改修工事、プール改修工事、及びトイレ改修工事を行ったほか、施設の適切な維持保全に努めた。

対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(対象をどのようにしたいのか)
幼児	健やかな成長が図られている。
小中学生	学力の向上が図られている。 心身ともに健全育成が図られている。
高校生	学力の向上、心身ともに健全育成が図られている。 生徒一人一人の希望に沿った進路の実現が図られている。
教員	誠実公正でかつ指導力が向上されている。
小中学校施設等	充実した教育環境に整備され、良好に保たれている。

施策の成果指標の状況・評価

実績値の推移				進捗の評価	
指標①	小中学校学力検査の全国水準(100)との比較【小学校4年生:国語】	単 位	目指す方向	△ 遅れが生じている	
		ポイント	↗		
当初値 (H25)	110.6	R1目標値	113.0	R6目標値	113.0
<p>数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において、全国平均より高い水準であった。各領域の全国比では、「読むこと」領域の全国比が110、「話すこと・聞くこと」領域が112、「書くこと」領域が114となっており、いずれも全国平均を上回っている。 課題としては、誤答率が5割以上である小問内容6項目のうち、4項目が「書くこと」領域の内容であり、目的や条件を踏まえて書く活動が不足しており、適切に表現する力が不足していると考えられる。</p>					
指標②	小中学校学力検査の全国水準(100)との比較【小学校4年生:算数】	単 位	目指す方向	△ 遅れが生じている	
		ポイント	↗		
当初値 (H25)	108.4	R1目標値	110.0	R6目標値	110.0
<p>数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において、全国平均より高い水準であった。各領域の平均正答率では、「図形」領域の全国比が106、「数と計算」領域が110、「量と測定・データの活用」領域が106となっており、いずれも全国平均を上回っている。 課題としては、誤答率が5割以上である小問内容2項目は、いずれも「図形」領域の内容であり、「関連付けて考える」学習活動の不足から、図形の性質や図形の作図の根拠の理解不足が考えられる。</p>					
指標③	小中学校学力検査の全国水準(100)との比較【中学校2年生:国語】	単 位	目指す方向	◎ 目標値に向け順調に推移	
		ポイント	↗		
当初値 (H25)	103.8	R1目標値	107.0	R6目標値	107.0
<p>数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において、全国平均より高い水準であった。各領域の平均正答率では、「話すこと・聞くこと」の全国比が111、「書くこと」領域が108、「読むこと」領域が104、「伝統的な言語文化と国語の特質」領域が105となっており、いずれも全国平均を上回っている。 課題としては、「書くこと」領域における「文や文節、単語についての理解」が全国比100となっており、書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にするなどの学習活動が不足していることが考えられる。</p>					
指標④	小中学校学力検査の全国水準(100)との比較【中学校2年生:数学】	単 位	目指す方向	◎ 目標値に向け順調に推移	
		ポイント	↗		
当初値 (H25)	102.2	R1目標値	105.0	R6目標値	105.0
<p>数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において、全国平均より高い水準であった。各領域の正答率では、「数と式」領域の全国比が107、「図形」領域が113、「関数」領域が105、「資料の活用」領域が103となっており、いずれも全国平均を上回っている。 課題としては、「資料の活用」領域における小問「ヒストグラムや相対度数」については9の内容のうち3の内容で全国通過率を下回っており、生徒が「数学的な見方・考え方」を働かせて、論理的、統合的・発展的に考える機会や、表・式・グラフを関連させながら事象について考察したり表現したりする機会が不足していると考えられる。目的に応じて資料を収集し、コンピュータを用いたりするなどして表やグラフに整理し、代表値や資料の散らばりに着目してその資料の傾向を読み取る学習の機会が不足していることが考えられる。</p>					
指標⑤	小中学校学力検査の全国水準(100)との比較【中学校2年生:英語】	単 位	目指す方向	◎ 目標値に向け順調に推移	
		ポイント	↗		
当初値 (H25)	103.2	R1目標値	105.0	R6目標値	105.0
<p>数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において、全国平均より高い水準であった。各領域の正答率では、「書くこと」領域の全国比が108、「聞くこと」領域が105、「話すこと」領域が104、「読むこと」領域が104となっており、いずれも全国平均を上回っている。 課題としては、「話すこと」領域の「テーマに沿ってスピーチする」、「読むこと」領域の「英文を正しく読み取る」において、令和2年度に引き続き、全国平均を下回っており、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の全領域でバランスのとれた指導の継続が必要と考えられる。</p>					
指標⑥	体力運動能力調査の全国水準(100)との比較【小学校5年生:男】	単 位	目指す方向	△ 遅れが生じている	
		ポイント	↗		
当初値 (H25)	97.8	R1目標値	101.0	R6目標値	101.0
<p>50m走、20mシャトルラン、反復横跳び、立ち幅跳び、ソフトボール投げ、長座体前屈、握力、上体起こしの8種目の調査結果である。 過去の体力調査結果では、落ち込みが見られる学年である。 令和元年度と令和3年度の全国標準値と比較すると、握力(筋力)・長座体前屈(柔軟性)・立ち幅跳び(瞬発力)において向上がみられる。一方で対象児童の過去の体力調査結果と比べると、20mシャトルラン(全身持久力)と50m走(スピード)は、改善が図られてきているが、全国標準値を下回っており、正しい姿勢で歩いたり走ったりできる児童が減少してきていることや、登下校時の保護者による送り迎えが増えてきていることも要因の一つと考えられる。</p>					

実績値の推移				進捗の評価			
指標⑦	体力運動能力調査の全国水準(100)との比較【小学校5年生:女】	単位 ポイント	目指す方向 ↗	◎ 目標値に向け順調に推移			
当初値 25.0	100.5	R1目標値 101.0	R6目標値 101.0	50m走、20mシャトルラン、反復横跳び、立ち幅跳び、ソフトボール投げ、長座体前屈、握力、上体起こしの8種目の調査結果である。 過去の体力調査結果では、長座体前屈(柔軟性)、20mシャトルラン(全身持久力)、ソフトボール投げ(投力)が優れている学年である。 令和3年度では、加えて握力(筋力)が全国標準値を上回っているが、対象児童の過去の体力調査結果と比べると、50m走(スピード)が全国標準値を下回っており、正しい姿勢で歩いたり走ったりできる児童が減少してきていることや、登下校時の保護者による送り迎えが増えてきていることも要因の一つと考えられる。			
							
指標⑨	体力運動能力調査の全国水準(100)との比較【中学校2年生:女】	単位 ポイント	目指す方向 ↗	△ 遅れが生じている			
当初値 (H25)	100.2	R1目標値 102.0	R6目標値 102.0	50m走、20mシャトルラン、反復横跳び、立ち幅跳び、ハンドボール投げ、長座体前屈、握力、上体起こしの8種目の調査結果である。 過去の体力調査結果では、上体起こし(筋力・筋持久力)、長座体前屈(柔軟性)、反復横跳び(敏捷性)、20mシャトルラン(全身持久力)、立ち幅跳び(瞬発力)、ハンドボール投げやソフトボール投げ(投力)に優れている学年である。 令和3年度でも、長座体前屈(柔軟性)が全国標準値を上回っているが、過去の調査結果では、筋力(握力)と50m走(スピード)が全国標準値を下回っており、盛岡市の50m走(スピード)の値も上がってきている現状であるが、全国基準値も上がっており、力を発揮するための身体の動かし方の理解を深めることが重要であると考え。			
							
指標⑧	体力運動能力調査の全国水準(100)との比較【中学校2年生:男】	単位 ポイント	目指す方向 ↗	○ 目標値に向け推移			
当初値 (H25)	100.4	R1目標値 102.0	R6目標値 102.0	50m走、20mシャトルラン、反復横跳び、立ち幅跳び、ハンドボール投げ、長座体前屈、握力、上体起こしの8種目の調査結果である。 過去の体力調査結果では、長座体前屈(柔軟性)、反復横跳び(敏捷性)に優れている学年である。 令和3年度でも長座体前屈(柔軟性)が全国標準値を上回っているが、対象生徒の過去の体力調査と比べると、上体起こし(握力・筋持久力)、50m走(スピード)、立ち幅跳び(瞬発力)が全国標準値を下回っており、盛岡市の50m走(スピード)の値も上がってきている現状であるが、全国基準値も上がっており、力を発揮するための身体の動かし方の理解を深めることが重要であると考え。			
							
指標⑩		単位	目指す方向				
当初値 (H25)		R1目標値	R6目標値				

小施策評価を踏まえた「成果点・問題点」と「今後の方向性」

小 施 策	成果点・問題点	今後の方向性
<p>17-1 小中学校教育の充実</p>	<p>○学力 1 小学校4年生 盛岡市学力向上推進事業において、全市的な共通取組内容である「見通しをもつ活動」「考え、学び合う活動」「振り返る活動」を位置付けた授業が浸透するとともに、児童生徒質問紙調査において、家庭学習に1時間以上取り組んでいると回答する児童が増加してきている。 (1)国語 ・数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において、全国比107.6で高い水準であった。各領域の平均正答率では、「読むこと」領域が110、「話すこと・聞くこと」領域が112、「書くこと」領域が114となっているが、目標値を達成していない。 ・誤答率が5割以上である小問内容6項目のうち、4項目が「書くこと」領域の内容である。 (2)算数 ・数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において、全国比106.0で高い水準であった。各領域の平均正答率では、「図形」領域が106、「数と計算」領域が110、「量と測定・データの活用」領域が106となっているが、目標値を達成していない。 ・誤答率が5割以上である小問内容2項目は「図形」領域の内容である。 2 中学校2年生 盛岡市学力向上推進事業において、全市的な共通取組内容である「見通しをもつ活動」「考え、学び合う活動」「振り返る活動」を位置付けた授業が浸透するとともに、児童生徒質問紙調査において、家庭学習に1時間以上取り組んでいると回答する生徒が増加してきている。 (1)国語 ・数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において、全国比104.2で高い水準であった。各領域の平均正答率では、「話すこと・聞くこと」領域が111、「書くこと」領域が108、「読むこと」領域が104、「伝統的な言語文化と国語の特質」領域が105となっているが、目標値を達成していない。 ・「書くこと」領域における「文や文節、単語についての理解」が全国比100となっている。 (2)数学 ・数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において、全国比103.6と高い水準であった。各領域の平均正答率では、「数と式」領域が107、「図形」領域が113、「関数」領域が105、「資料の活用」領域比が103となっているが、目標値を達成していない。 ・「資料の活用」領域における小問「ヒストグラムや相関度数」について、9内容のうち3内容で全国を下回っている。 (3)英語 ・数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において、全国比104.2で高い水準であった。各領域の正答率では、「書くこと」領域が108、「聞くこと」領域が105、「話すこと」領域が104、「読むこと」領域が104となっているが、目標値を達成していない。 ・「話すこと」領域の「テーマに沿ってスピーチする」、「読むこと」領域の「英文を正しく読み取る」において、全国平均を下回っている。</p> <p>○体力運動能力 1 小学校5年生 体育の授業等での運動量確保や、盛岡市とスポーツ協会との協力による、SAQTレーニングの取組によって改善が図られているが、正しい姿勢で歩いたり走ったりできる児童が減少してきている。また、登下校時の保護者による送り迎えが増えている。 (男子) ・握力(筋力)、長座体前屈(柔軟性)、立ち幅跳び(瞬発力)が向上してきている。 ・20mシャトルラン(全身持久力)と50m走(スピード)は、改善が図られてきているが、全国との比較において低い結果となっており、目標値を達成していない。 (女子) ・長座体前屈(柔軟性)、ソフトボール投げ(投力)、握力(筋力)が全国標準値を上回っている。 ・50m走(スピード)、立ち幅跳び(瞬発力)は、全国との比較において低い結果となっており、目標値を達成していない。 2 中学校2年生 体育の授業での運動量確保や、成長期にある生徒が、運動、食事、休養、睡眠のバランスの取れた生活を送ることができることにより、基礎体力の強化が図られてきている。 盛岡市のスピード(50m走)の値が上がってきている現状であるが、全国基準値も上がってきており、力を発揮するための身体の動かし方の理解を深めていく必要がある。 (男子) ・長座体前屈(柔軟性)が全国標準値を上回っている。 ・上体起こし(握力・筋持久力)、50m走(スピード)、立ち幅跳び(瞬発力)は、全国との比較において低い結果となっており、目標値を達成していない。 (女子) ・長座体前屈(柔軟性)が全国標準値を上回っている。 ・握力(筋力)、50m走(スピード)は、全国との比較において低い結果となっており、目標値を達成していない。</p>	<p>今後の方向性</p> <p>○学力 ・授業における、全市的共通取組内容である「見通しをもつ活動」「考え、学び合う活動」「振り返る活動」の学習活動を通して、子どもたちが学んだことを自覚し、達成感や有用感をもつことができるようにする。 ・「各種学力調査における誤答や無回答の要因を分析し、指導に生かすこと」、「『確かな学力育成プラン』の年度をまたいだ共有」を通して、指導改善のCAPDサイクルを機能させる。 ・各学校の改善に向けた取組事例を共有しながら、児童生徒の学力向上を図る。 ・家庭学習について量的な改善が図られてきているため、質的な改善を図るとともに、主体的に取り組む児童を育成する。 1 小学校4年生における授業改善 (1)国語 目的や条件を踏まえて書く活動、適切に表現する学習活動に重点を置いた「考えを深める学び合い」 (2)算数 関連付けて考える学習活動に重点を置いた「考えを深める学び合い」 2 中学校2年生における授業改善 (1)国語 読みやすく分かりやすい文章にする学習活動に重点を置いた「考えを深める学び合い」 (2)数学 目的に応じた資料の収集、表やグラフの整理、資料の傾向を読み取る学習活動に重点を置いた「考えを深める学び合い」 (3)英語 「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」のバランスのとれた学習活動に重点を置いた「考えを深める学び合い」</p> <p>○体力運動能力 1 小学校 ・徒歩の登下校を呼びかけや日常的な外遊びを働きかける等、60運動とも関連させながら、基礎体力の向上を図っていく。 ・体力向上に向けた指導方法や実践を研究発表会や公開講座で広めることにより、各学校に浸透させながら体力向上を図っていく。 ・「走る」に特化した研究員研究を行い、研究発表会で発表を行う。 ・体育の授業等で取り組むウォーミングアップを浸透させながら体力向上を図っていく。(ウォーミングアップDVDの活用) 2 中学校 ・小学校から引き続き、60運動に取り組むとともに、「走る」に特化しながら、体力の向上を図っていく。 ・体育の授業や、部活動を通して、ウォーミングアップの重要性を理解させ、正しい身体の使い方を習得させることで、基礎体力の向上を図っていく。 ・体力向上に向けた指導方法や実践を研究発表会や公開講座で広めることにより、各学校に浸透させながら体力向上を図っていく。 ・「走る」に特化した研究員研究を行い、研究発表会で発表を行う。 ・体育の授業等で取り組むウォーミングアップを浸透させながら体力向上を図っていく。(ウォーミングアップDVDの活用)</p>

小 施 策		成果点・問題点
17-2	幼稚園教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・園児一人一人を大切にした幼児教育が推進され、保護者の満足度が向上している。 ・各幼稚園では、園児の減少に伴い集団が小規模となり、幼児同士の人間関係の固定化や体験できる遊びの限定、集団生活を通して身に付けなければならない社会性をはぐくむことが難しい状況が生じている。
17-3	高等学校教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの生徒が、志望する大学や専門学校に進学するとともに、18年連続就職率100%を達成している。 ・進学率、就職率の向上に向けた取組を充実させるとともに、社会構造や雇用環境が大きく、急速に変化する時代においても、社会的・職業的に自立し、社会の担い手となる人材の育成に向けた教育の充実が求められている。 ・確かな学力を身に付けさせ、安定的に進路目標を実現できる生徒の育成に関して、授業やその他の教育活動の充実が求められている。
17-4	教職員研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、各講座に一定の定員を設けて開催し、409人の参加があった。 ・参加者アンケートでは、ICTの講座や受講者のニーズを踏まえた講座開設を評価する声が寄せられ、満足度は3.69(4段階評価)となった。 ・夏期休業中の開催では、県教委の教育課程説明会や中学校の運動部の東北大会、高校体験入学等が重なることが予想され、開催期日については、工夫する必要がある。
17-5	学校施設の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学校校舎の大規模改修工事を完了させ、児童センターとの複合化を実施できた。 ・学校校舎のトイレ改修工事を完了できた。 ・学校校舎の大規模改修及び安全対策に係る設計を完了できた。 ・学校を含む公共施設について、限られた財源を効果的に活用し、計画的な保全の実施と施設の長寿命化を図り、次世代に大きな負担を強いることなく、「公共施設の保有の最適化」を推進し、持続可能な市民サービスの提供を目指す必要があるが、限られた財源の中、「公共施設保有最適化・長寿命化中期計画」のスケジュールに基づく大規模改修を実施できておらず、進捗が遅れている。

今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・きめ細かな幼児教育を提供したり、異年齢集団の教育活動を充実させたりするとともに、幼稚園教育と小学校教育の相互理解と円滑な接続を図る。 ・園内研修の充実を図ることにより、教員の資質向上に努める。 ・園児数減少の影響により、教育活動が限定されたり、集団生活を通してはぐくむ資質・能力の育成が困難な状況も見られたりすることから、閉園も含めた今後の園の在り方について、保護者や地域住民の意見も含めて検討する。
<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育を通して、社会的・職業的自立に向けた総合生活力と人生設計力を育成するとともに、一人一人の自己実現が図られるよう、きめ細かな指導体制を確立する。 ・キャリア教育の一環として、起業家精神や起業家的資質・能力を育成するための「起業家教育」を教育課程に位置付け、その充実を図る。 ・生徒が意欲を高め、主体的に活動する授業づくり及び対話による授業展開についての研修を実施し、生徒の意欲が引き出される授業の改善へとつなげる。
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和4年度も各講座に定員を設け、感染症対策を徹底して開催する。 ・従来の講座に加えて、今日的課題、教員のニーズを踏まえ、「ICT活用」「コミュニティ・スクール」「生徒指導(不登校)」「教育相談(LGBTQ+)」に係る講座を開催する。 ・講座の内容に応じて、各学校の効果的な実践事例を取り上げ、2学期からの教育活動の充実を図る。 ・岩手県教育委員会の教育課程説明会や学校行事等の期日等を確認しながら講座を開催する。 ・特設講座として「伝統文化教員体験教室」を開設する。
<ul style="list-style-type: none"> ・「長寿命化工事実施マニュアル」に基づき、事業費の精査を行い、限られた財源を効果的に活用することにより、将来にわたって様々なニーズに対応できる施設整備に努めていく。また、「公共施設保有最適化・長寿命化中期計画」の改訂を受け、令和3年7月に策定した「盛岡市立小中学校校舎安全対策改修計画」及び令和3年7月に改訂した「盛岡市有公共施設トイレ環境整備計画」に基づき、小中学校施設について集中的に取り組む。 ・「盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化中期計画」と整合を図りつつ、施設の複合化が円滑に進むよう関係団体、関係部署等と緊密な調整を進めていく。 ・学校プールの老朽化への対応として、大規模改修の他に、水泳授業の民間委託及び市営プールの使用等について検討を進める。

【施策評価(令和3年度実績評価)】

施策の総合計画における位置付け

基本目標	3	人を育み未来につなぐまちづくり
施策	18	生涯学習の推進
施策主管部等	教育委員会	
評価責任者	渡邊 猛 教育部長	
評価シート作成者	工藤 浩統 教育次長	

「施策の目的」と「施策評価全体を踏まえた評価責任者意見」

施策の目的(総合計画実施計画から転記)	施策評価全体を踏まえた評価責任者意見
誰もが楽しみや生きがいを持ち、豊かに暮らすことができるように、いつでもどこでも学ぶことができる環境の構築を図る。	市民の生涯学習を支援するため、市民ニーズを捉え、多彩な講座等の開催に努めているが、受講者の年代や性別に偏りがあることから、多様化するライフスタイルに対応した幅広い学習機会を提供できるよう、更なる創意工夫、改善が必要と考えている。 また、社会教育施設の老朽化が進んでおり、市民が安全・安心に利用できることに加え、利便性の高い施設となるよう修繕・改修・整備を計画的に実施していく必要がある。 今後も、市民の学習意欲を高められるよう、ソフト・ハード両面から、生涯学習推進のための環境づくりに努める必要がある。

施策の概要

主な取組内容
公民館等では、市民ニーズを把握するとともに、コロナ禍におけるリスク評価を行い、感染防止対策を講じながら、家庭教育支援・青少年教育・成人教育・高齢者教育・芸術文化活動・生涯学習推進・地域連携など、幅広いテーマによる学習機会の提供に努めた。 また、中央公民館企画展示室の大規模改修工事及び新設駐車場整備、市立図書館耐震補強及び大規模改修工事の設計業務に取り組むなど、市民の良好な学習環境の整備に努めた。

対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(対象をどのようにしたいのか)
市民	意欲的に学習活動の取り組む。
社会教育施設	計画的な整備や修繕により良好な環境が保たれる。

施策の成果指標の状況・評価

実績値の推移				進捗の評価	
指標①	まちづくり評価アンケート調査「この1年間に何らかの学習をした」と答えた市民の割合	単 位 %	目指す方向 ↗	△ 遅れが生じている	
当初値 (H25)	40.6	R1目標値	43.9	R6目標値	47.2
<p>・新型コロナウイルス感染拡大に伴う市民の活動自粛や、ライフスタイルの多様化、情報通信機器の発達等により、市民の学び方や社会教育施設に求める学習に対する意識が変化してきていることが社会的背景として考えられる。 ・社会教育施設における学習講座は、市民要望の多い趣味的な学習テーマ(要求課題)だけでなく、防災や環境など社会的な課題の学習テーマ(必要課題)とのバランスを図りながら実施する必要があること、また、学習活動の機会や時間の確保が難しい勤労青年層の参加者数が少ないことを踏まえ、市民ニーズの把握、講座の開催日時や内容について、見直しを図っていく必要がある。</p>					

小施策評価を踏まえた「成果点・問題点」と「今後の方向性」

小 施 策		成果点・問題点	今後の方向性
18-1	社会教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 学びの循環推進事業では、多彩な講座メニューを用意し、市民の継続的な学習活動に活用されているが、大学教員を講師として派遣する「専門コース」の活用が少ないほか、防災や環境など社会的な課題の学習テーマ(必要課題)への講師派遣が減少している。 家庭教育支援に係る講座の開催、家庭教育情報誌の発行、青少年教育事業の実施、社会教育関係団体への活動支援などにより、市民の学習機会の充実が図られるとともに、新成人のリーダーが育成されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 岩手大学の生涯学習領域と連携強化を図り、市民ニーズの把握と社会的課題へのマッチングについて研究を進めるほか、魅力ある講座等の企画・実施に向け、他大学との連携も視野に入れた検討を進め、併せて効果的な周知方法についても検討する。 家庭教育支援や青少年教育など社会教育に係る学習機会の充実と団体の育成支援を継続する。 中学生リーダーや新成人リーダーの育成を継続する。
18-2	社会教育施設の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> 多彩な講座の開催に努めたが、講座により参加者数に偏りがあるほか、勤労青年層の参加が少ない。 中央公民館企画展示室の大規模改修工事及び新設駐車場整備、市立図書館耐震補強及び大規模改修工事の設計業務に取り組んだ。 老朽化の進む社会教育施設の計画的な修繕・改修を進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズの把握に努め、学習テーマのバランスを図りながら魅力ある講座を実施するほか、各種講座、事業、職員研修の実施に当たり、岩手大学の生涯学習領域の窓口と連携強化を図っていく。 「公共施設保有の最適化と長寿命化のための基本方針」と整合を図りながら、社会教育施設の計画的な修繕や改修を行うとともに、地域課題や市民ニーズに対応した新規の施設整備を推進する。